

| | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 1. 発信作業グループ: 作業グループ: オーバサイト 連絡先: contact@questforum.org | 2. アラート番号: <p style="text-align: center;">07-003A</p> |
| 3. 影響を受ける文書: TL 9000 認証機関審査員に対する資格及び経験要求事項 | 4. 発行日: 2007年6月15日 |
| 5. アラート発行理由: TL 9000 認証機関審査員に対する改定された資格及び経験要求事項と、これらの要求事項の有効日を明確にする。 | |
| 6. 説明: R3.0 要求事項ハンドブックの附属書 G は R4.0 要求事項ハンドブックのリリースに伴い改定された。そして、現在“TL 9000 認証機関審査員に対する資格及び経験要求事項”として下記 Web Site に公開されている。 http://tl9000.org/tl_resources/reg_guidance/tl_9000_Auditor_Qualification_R2.pdf 新規要求事項の有効日が発行時点では明確でなかったため、継続的専門能力開発 (CPD) 日数計算について、質問が寄せられている。 | |
| 7. コメント: 上記参照文書は、それが 2007 年 1 月 1 日に有効になることを意図して、2006 年にオーバサイト作業グループによって承認された。上記文書で述べられている 3 年間の資格維持期間は、現在認証機関で活動しているすべての TL 9000 審査員に対して、2007 年 1 月 1 日に開始された。 2007 年 1 月 1 日以降に TL 9000 認証機関審査員になろうとする人に対しては、3 年間の資格維持期間は、分類を問わず、TL 9000 審査員として認証機関が資格を与えたが開始日となる。2007 年 6 月 30 日以降実施されるすべての審査は、TL 9000 R4.0/R4.0 に基づいて実行されなければならない。その日 (2007. 6. 30) 以降に審査を実施するすべての TL 9000 認証機関審査員は上記参照文書で定義されたように、電気通信業界経験審査員 (TIEA)、TL 9000 主任審査員、TL 9000 審査員として分類されていなければならない。 TL 9000 主任審査員が、この 3 年間の最初の 12 ヶ月 (すなわち、2008 年 1 月 1 日以前) で電気通信業界経験審査員 (TIEA) の立会いを受けなかった場合、成功裏に立会いを受ける時まで、TL 9000 審査員状態に戻る。 | |

本文書はさらに、すべての TL 9000 認証機関審査員に対して、電気通信業界経験審査員 (TIEA)、TL 9000 主任審査員、TL 9000 審査員の分類に関わらず、資格を維持するために 3 年間に 15 時間の CPD トレーニングを完了することを要求事項としている。

特に、TIEA については、以下の事項に注意すべきである。すなわち、要求 CPD の一部の時間を毎年獲得するつもりで (すなわち、3 年に一度だけ獲得するのではなく)、クレストフォーラム会議及び/又は作業グループ会議に参加することにより、トレーニング時間を獲得していくことが要求されている。三つの分類すべてに対する 15 時間の CPD は、クレストフォーラムによって要求される追加コースを含む、電気通信産業に関する内容でなければならない。

TL 9000 主任審査員及び TL 9000 審査員も又、クレストフォーラム会議及び/又は作業グループ会議に参加することによって、トレーニング時間を若干獲得することができる。これらの活動への参加は証明できなければならない。

CPD 時間は、審査員認証に対して RABQSA International (ISO/IEC 17024 適合の要員認証機関) によって利用されるのと同じ方法で指定される。CPD 時間は、CEU (訳注: Continuing Education Unit 米国で運営されている継続教育ユニットのこと) ではなく、実働時間であり、以下のようなカテゴリーで分けられる。

- ・ コース指導 (COURSE INSTRUCTION) : 大学コースあるいは、会社支援による技術的、専門団体、又は独立したコンサルタントの非大学コース (3 年の期間中に、同一コースで何回指導しても 1 回とみなす)。
- ・ 正式な短期コース参加 (FORMAL/SHORT COURSE PARTICIPATION) : 大学コースあるいは、会社支援による技術的、専門団体、又は独立したコンサルタントの非大学コース、あるいは、独立した会社が提供する家庭学習 (在宅学習コース)。(完了し、単位を修得しなければ、CPD 時間を獲得できない)
- ・ 専門機関団体ミーティング (PROFESSIONAL BODY ASSOCIATION MEETING) : 適切な技術、又は専門的団体プロジェクトを含む委員会活動、技術又は専門団体の定期的な会員ミーティング。(ミーティングは技術分野又は専門分野をベースにしたものでなければならない)
- ・ 会議、セミナー、勉強会 (社内を含む) : 会社又は技術的団体組織によって支援された、会議、セミナー、勉強会及び討論会。(適切な技術的内容を含んでいなければならない)

上述の様に、これら 15 時間の CPD は、電気通信産業に関連していることが証明されなければならない。認証機関の TL 9000 審査員に対して、このプロセスを監督することが認証機関の責任である。オンラインコースでの適用時間は以下で参照できる。

http://tl9000.org/tl_training-curr-auditor.htm.